教育目標　すくすく　ぐんぐん　にこにこ

令和３年１１月２７日
第５２５号
北区立じゅうじょうなかはら幼稚園

園長　髙沢　ゆみか

振り返る力

１１月は、ふれあいデーや年少組の保育参観、年長組の生活発表会など、保護者の皆様にご来園いただく機会が何度かありました。感染症の状況がひとまず落ち着きを見せ、対策を講じつつも、実際に子どもたちの幼稚園での姿をご覧いただけることをとてもうれしく思っています。

生活発表会は、先日のミニ音楽会に続き、子どもたちが学級の友達と一緒につくり上げた劇・表現活動をご覧いただく機会です。同時に、生活発表会という名称にあるように、これまで積み重ねてきた子どもたちの生活の様子、学級の雰囲気などを感じ取っていただきたいと思っています。

年長さくら組は、おうちの方々に劇を見に来ていただくことを励みに、演目も、それぞれの役も、台詞も、自分たちで考えながら劇をつくり上げました。取り組みの中では、「ここの場面ではこんなふうに言いたい」とか、「こういう歩き方をしたい」など、それぞれが思いをもち、同じ役の仲間と一緒に動きながら、劇をつくる過程をとても楽しんでいました。

中でもうれしかったのは、子どもたちが自分自身を振り返り、もっとよくしようと次の目標を立てたり、前日よりもよくなったところに気付いたりする姿です。学級で劇をした後、担任は、毎回振り返りの時間を設けていました。最初の頃は、「楽しかった」という声ばかりが目立っていましたが、徐々に「今日は、〇〇するのを忘れちゃったから、明日は忘れないようにする」とか、「昨日より山（大道具）を動かすのが素早くできてよかったと思う」など、具体的に自分を振り返り、もっとよくしたいと次への意欲や期待をもったり、昨日とは違う自分を感じ取ったりする発言に変わってきたのです。楽しみ、一緒に考えてつくり上げる主体的な取り組みを通して、振り返る力も育まれていると感じます。また、「昨日よりも大きい声で台詞が言えた。みんなの声も昨日より大きかった」と友達の変化に気付く子もいました。学級のみんなで共通の目的をもって取り組む中で、それぞれが持ち味を発揮し、互いの個性やよさを認め合い、刺激を受け合いながら成長していく子どもたちの姿がとても頼もしく見えました。一人一人がその成長の手応えを感じ取り、自信につなげていかれるよう支えてまいります。また、さくら組の劇を見て、憧れ、早速自分たちの遊びに取り入れている、ちゅうりっぷ組の今後の姿も大変楽しみです。

年の瀬となり寒さも本番を迎えます。この一年の皆様からのご支援、ご協力に深く感謝申し上げます。保護者、地域の皆様おかれましても、お体に気を付けてよいお年をお迎えください。

今月の指導のねらい

＜ちゅうりっぷ組＞

- 自分の思いを言葉や動きで表しながら、それを実現することや、繰り返し取り組むことを楽しむ。
- 学級のみんなでする活動を楽しみにし、自分から取り組もうとする。

＜さくら組＞

- 自分なりの目的をもち、遊びや活動に取り組み、達成した喜びを味わったり、自分の成長に気付いたりする。
- 学級やグループの課題を自分なりに受け止め、考えたり協力したりしながら、友達と一緒にやり遂げようとする。